

小型・軽量UV離線測定装置

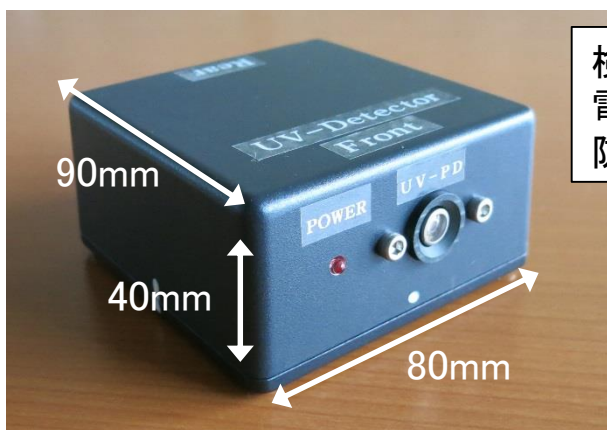
(Small-sized Ultraviolet Ray Detector for Contact Loss)

【概要】

離線は集電性能を評価するための重要な指標の一つです。その測定手法として、離線アークに含まれる紫外線を検出する手法は、昼夜を問わない測定が可能であることに加え、国際規格にも準拠したものです。小型・軽量UV離線測定装置は、従来の測定装置に比べて大幅な小型化を実現するとともに、設置場所に応じて形状をチューニングすることも可能となりました。

【特徴】

小型・軽量UV離線測定装置は、検出波長が220nm～275nmです。バッテリーもしくは12V直流電源で駆動させることもできます。防塵・防水性能は、IP64(防塵・防沫)を有しています。

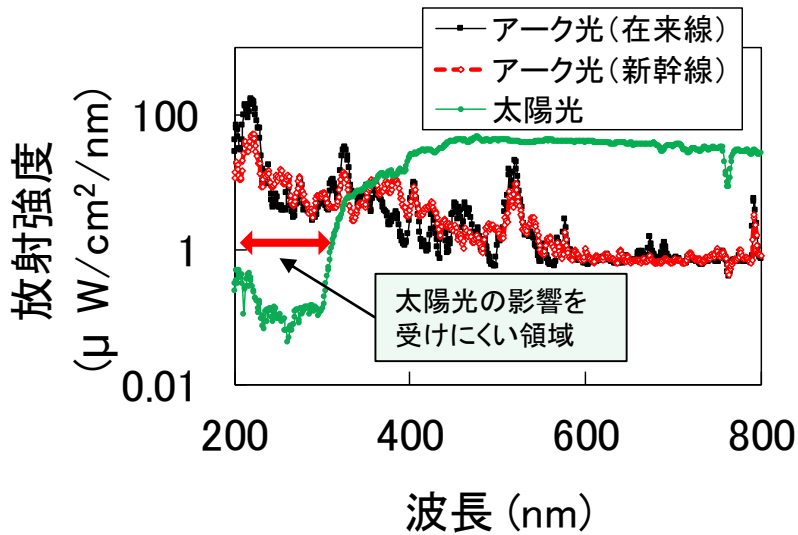


検出波長: 220～275nm
電源: バッテリ、12V直流電源
防塵・防水性能: IP64

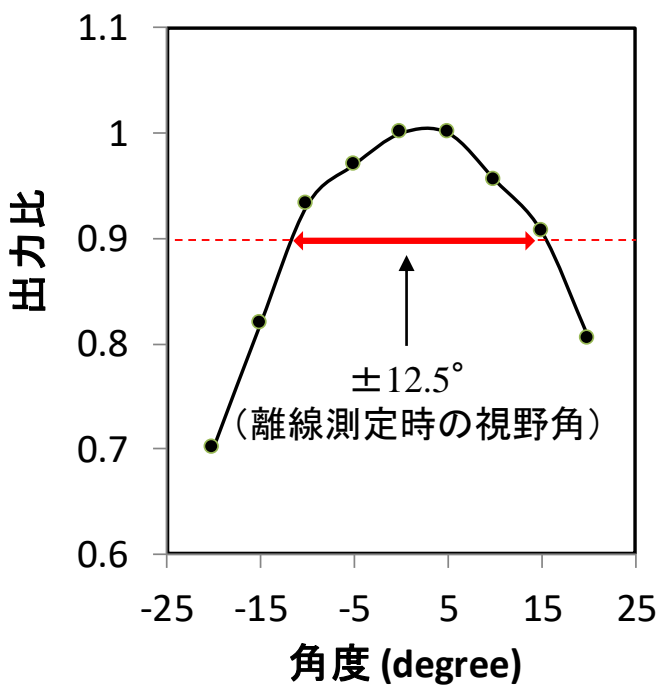
小型・軽量UV離線測定装置

【用途】

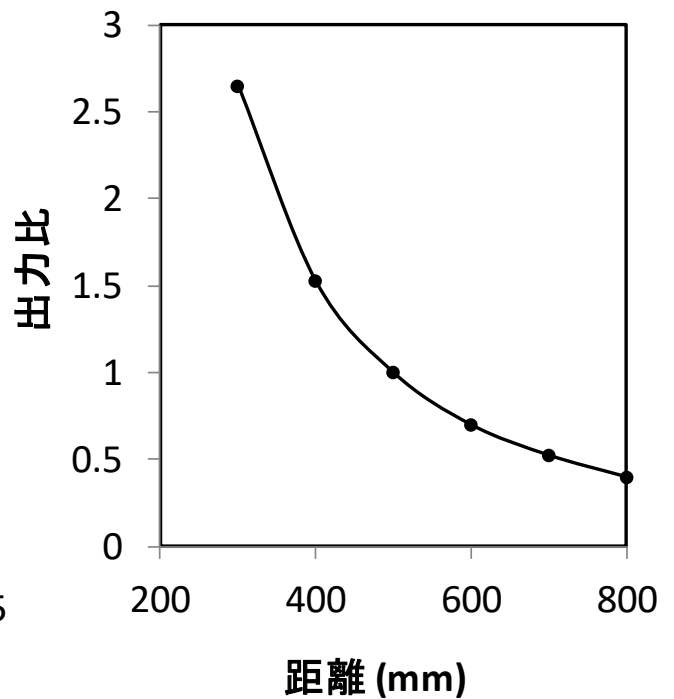
営業線における架線・パンタグラフの集電性能測定に適用できます。また、アーク放電を検出することができるので、エアセクション箇所や変電所内でのアーク放電の検知にも適用することができます。



太陽光と離線アークのスペクトル分布



角度特性



離線測定装置の設置位置と出力の関係

国内特許 特許第6110815号

海外特許 11201610262X、10-1792091、ZL201580030045.6

【実施例】

国内、海外の鉄道事業者で活用されています。

担当 電力技術研究部(電車線構造)